

直感的な操作性を実現するユーザーインターフェース「モーションコントロール」を新搭載 Strada HDDカーナビステーション*1「Hシリーズ」2機種を発売

200 mm*2ワイドコンソール車対応モデルをラインアップ。「クリアパネル」採用で視認性も向上

開発の背景

当社は、HDDカーナビステーション*1「ストラダ」の新製品「Hシリーズ」2機種を8月12日より発売しました。

近年の市販カーナビゲーション市場は、より進化した機能が求められる一方で、購買層の広がりにより、操作性や車とのマッチングなど、幅広い市場ニーズへの対応が求められています。本製品は、タッチパネルでの操作をより直感的に行うことができるユーザーインターフェースを新搭載しました。外観、デザインも一新し、自然で高級感あるフィッティングを実現しました。

当社は、本製品の発売により、さらなる市販市場の拡大を図るとともに、多様化するお客様のニーズに呼応する新しい「カーライフスタイル」を提案してまいります。

主な特長

1) 200 mm*2幅のワイドフェイスパネルの採用で、幅広い車種にジャストフィット装着が可能

200 mm*2ワイドコンソール対応モデル（H500WD）をラインアップ。オプションスペーサーを使用せずにジャストフィットの美しい取り付けが可能になりました。

従来モデルにあった画面周辺の凹凸を取り払ったフラットフェイスを採用。特にH500WDはボタン部もフルフラット化を実現。センターコンソール内で、より一体感のあるスタイリッシュな取り付けを実現しました。



CN-H500WD

2) 直感的な操作を可能にしたユーザーインターフェース「モーションコントロール」を新搭載

メインメニューはもちろん、地図画面やリスト表示画面での操作に静電タッチパネルによる“フリック（はらい）”や“ドラッグ（なぞり）”といった操作方法を採用。直感的でよりスムーズな操作が可能になるとともに、従来の感圧方式に比べ、透過性も向上し、地図や動画の視認性も向上しました。

「フルスクリーンマップ」で通常は7V型画面に広く地図が表示され、操作が必要な時に手を近づけると「アプローチセンサー」が作動し、「ダイレクトランチャー」メニューが表示されます。

好評の簡単ツートップメニューがさらに使いやすく「モーションツートップメニュー」に進化。従来の左右のナビ・AV機能に加え、上下のリンク画面や情報・設定画面を追加し、“ドラッグ”操作でスムーズに移動できます。

3) ワイドVGA液晶に「クリアパネル」と「LEDバックライト」採用でさらなる高画質を実現。

液晶モニターに「クリアパネル」「LEDバックライト」を採用し、より明るく鮮やかに高画質表示できます。

操作ボタンのイルミネーション色が車種や、お好みに応じて8色の中から選択が可能になり、夜間も快適なドライブを演出します。

*1：カーナビステーションは「カーナビゲーション機能+エンタテインメント機能」を組み合わせたカーナビゲーションシステムです。

*2：“200 mm”、“180 mm”は車のコンソール内のカーナビゲーションの取り付け開口部の幅寸法です。

◆詳細URL◆ <http://panasonic.co.jp/corp/news/official.data/data.dir/jn110621-1/jn110621-1.html>

「エコナビ」に加え「便座保温切」機能でさらに節電*1 温水洗浄便座「ビューティ・トワレ」WEシリーズを発売

新開発「節水機構」で節水性を向上*2

開発の背景

当社は、業界No.1*3の省エネ性能（瞬間式において）に加え、「便座保温切」機能で待機時の消費電力をさらに節電*1、加えて新開発の「節水機構」で節水性を向上*2した温水洗浄便座「ビューティ・トワレ」WEシリーズを9月20日より発売しました。昨今、環境意識や節電意識が高まるなか、各家庭においても家電製品の節電対策への関心が高まっています。そのようななか、1日のうち約47分*4しか使用しないトイレの温水洗浄便座は、家庭での消費電力量の6位*5の位置にあり待機時の保温消費電力量の低減など「省エネ性」が求められています。当社は本製品により、高まる節電、節水意識に対応した快適なトイレ空間を提案します。

主な特長

1) 業界No.1*3の省エネ（瞬間式において）に加え、「便座保温切」機能で待機時の消費電力をさらに節電*1

当社独自の「W瞬間方式」は、使うとき瞬時に便座を温める*6「瞬間暖房便座」と、使うときだけシャワーを温める「瞬間湯沸しシャワー」の組み合わせで、待機時の保温消費電力を抑える省エネ性に優れた方式です。また、好評の「エコナビ」は「ひとセンサー」と「室温センサー」で人の入退室や室温の変化を感知。最適な保温温度に制御し自動で節電運転をします。今回新たに採用した「便座保温切」機能は室温にかかわらず待機時の便座保温



運転を停止します。通常、室温が16℃以上の場合には便座保温運転はしませんが、15℃以下の場合には約15℃で便座を保温しています。「便座保温切」を設定すると便座保温運転を停止し待機時の消費電力を約1Wに低減します。（室温が約5℃の時、入室後約10秒で便座が温まります）

本製品の年間消費電力量*7は62 kWh/年（75 kWh/年）を実現。年間電気代は1360円*8となり、当社8年前（瞬間式GMシリーズ*9）と比べ、電気代は1/2以下（約55%省エネ）です。

2) 新開発「節水機構」で「逃がし水」を削減し節水性を向上*2

従来、洗浄時には水圧調整のために「逃がし水」を排出していましたが、本製品では新開発の「節水機構」で水圧を調整することにより「逃がし水」を削減、節水性を向上*2しています。年間では2L入りペットボトル約1020本分の節水*2*10（水圧0.20 MPaの場合）を実現しています。

3) 「ナノイー」を新搭載しトイレの壁に蓄積する付着臭を抑制*11（WE60・50のみ）

水に含まれた微粒子イオン「ナノイー」の発生ユニットを新搭載し、トイレの壁に蓄積する付着臭を抑制します*9。トイレ使用中に便器で発生する排便臭は「お出迎えオート脱臭」機能で脱臭し、壁に蓄積する付着臭は、トイレ退室後に発生する「ナノイー」で抑制、トイレを快適な空間に保ちます。

・その他の特長

使用前、便器の内面全体に水を吹き付け、掃除の手間を軽減する「アクアコート」機能（WE60、50、40のみ）を搭載。

*1～*7、*8、*9、*10、*11の条件、検査方法などは、下記URLの※1～※7、※10、※11、※8、※9にてご確認ください。

◆詳細URL◆ <http://panasonic.co.jp/corp/news/official.data/data.dir/jn110725-1/jn110725-1.html>